

製品案内

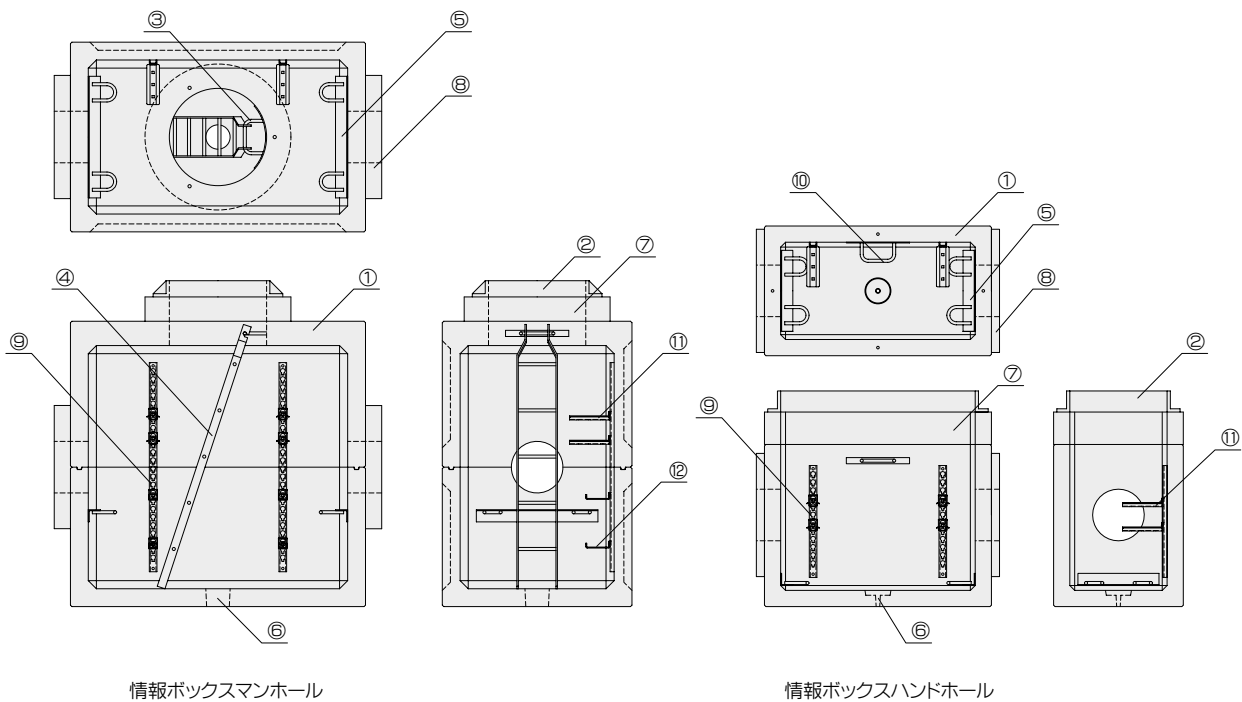
高度情報通信社会の実現に向け社会資本整備が推進される中、情報BOX関連工事が現在急ピッチで進められております。国交省においても、平成12年度の重点施策として、「光ファイバー収容空間等情報通信基盤の整備、ITS(高度道路交通システム)の推進」が挙げておりその動向が注目されております。これに伴い、様々な情報BOXの関連資機材が開発され、全国各地で利用されております。

製品の特長

- タイプ別にバリエーションが揃っています。
- 管路方式に応じたダクトブロックを用意。
- 任意の管路取り付けに対応。
- クロージャーストッパー等、各種金物を用意。
- 丈夫で、耐久性に富むRC構造、もちろん耐震性も抜群。

必要部材の取付箇所

- | | | | |
|------------|--------|---------------|-----------|
| ① 本体 | ② 鉄蓋 | ③ 梯子用ステップ | ④ 梯子 |
| ⑤ ケーブル引込金物 | ⑥ 水抜き穴 | ⑦ 調整リング(側塊) | ⑧ アダプタ |
| ⑨ 筋金物 | ⑩ ステップ | ⑪ クロージャーストッパー | ⑫ ケーブル受金物 |



設計条件

情報ボックスマンホール

上載荷重 T-25 (車道用後輪一輪荷重 10t)
 衝撃係数 $i = 0.4$

コンクリート

設計基準強度 $o_{ck} = 50 \text{ N/mm}^2$
 許容曲げ圧縮応力度 $o_{ca} = 18 \text{ N/mm}^2$
 許容せん断応力度 $t_{ca} = 0.6 \text{ N/mm}^2$

鉄筋

SD295A許容引張応力度 $\sigma_{sa} = 180 \text{ N/mm}^2$

情報ボックスハンドホール

上載荷重 T-8 (歩道用)
 衝撃係数 $i = 0.1$

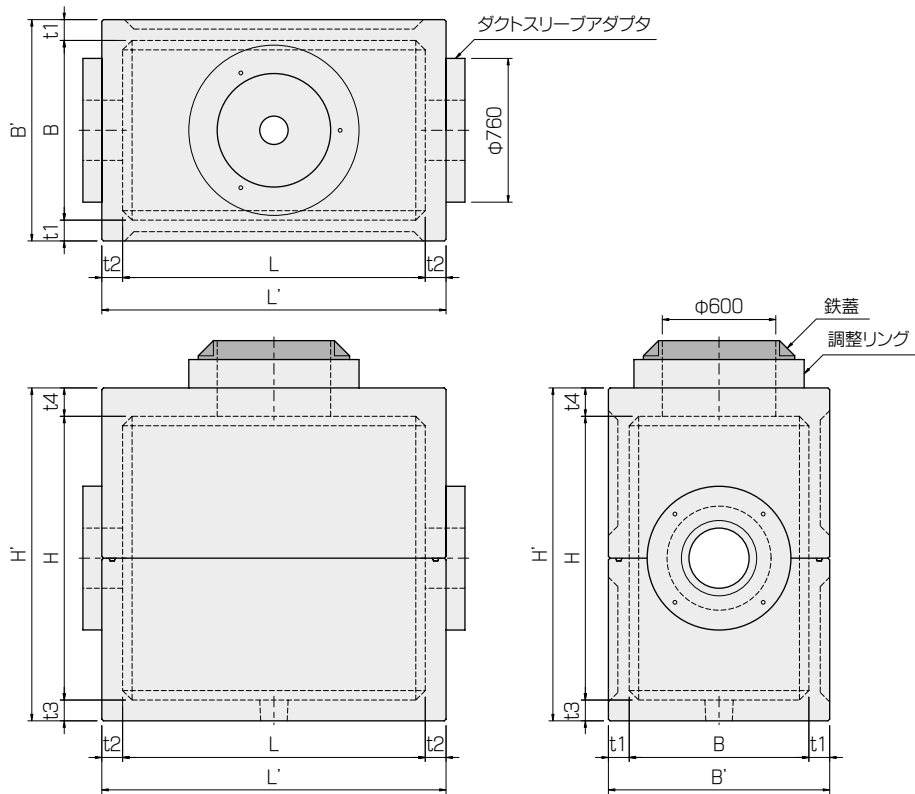
コンクリート

設計基準強度 $o_{ck} = 50 \text{ N/mm}^2$
 許容曲げ圧縮応力度 $o_{ca} = 18 \text{ N/mm}^2$
 許容せん断応力度 $t_{ca} = 0.6 \text{ N/mm}^2$

鉄筋

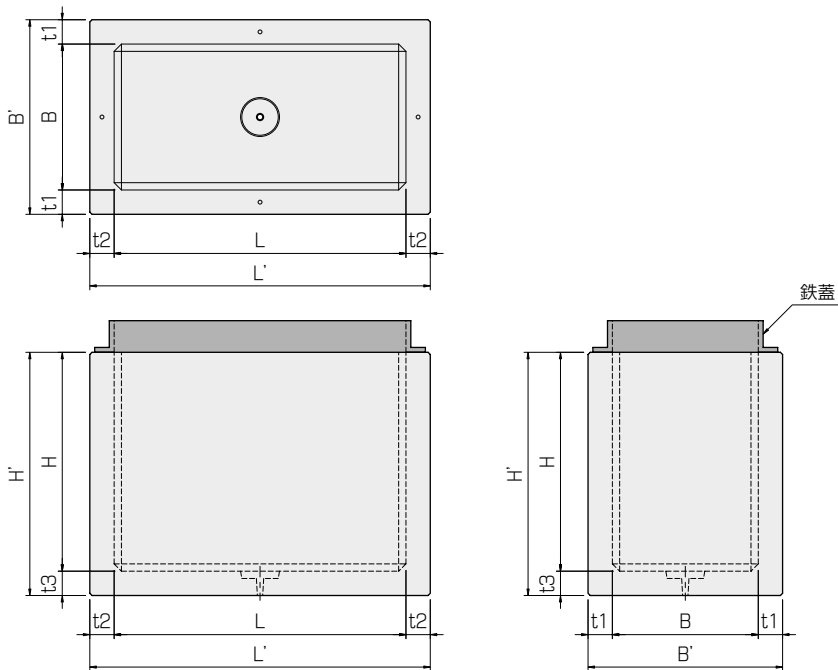
SD295A許容引張応力度 $\sigma_{sa} = 180 \text{ N/mm}^2$

情報ボックスマンホール

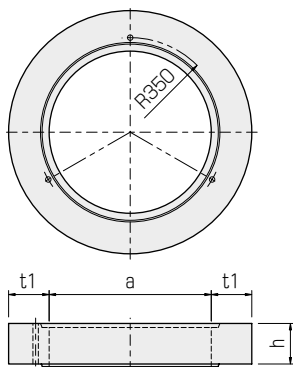


呼び	寸法(mm)										参考重量 (kg)
	B	B'	L	L'	H	H'	t1	t2	t3	t4	
MH-950×1600×1500h	950	1170	1600	1820	1500	1760	110	110	110	150	2880

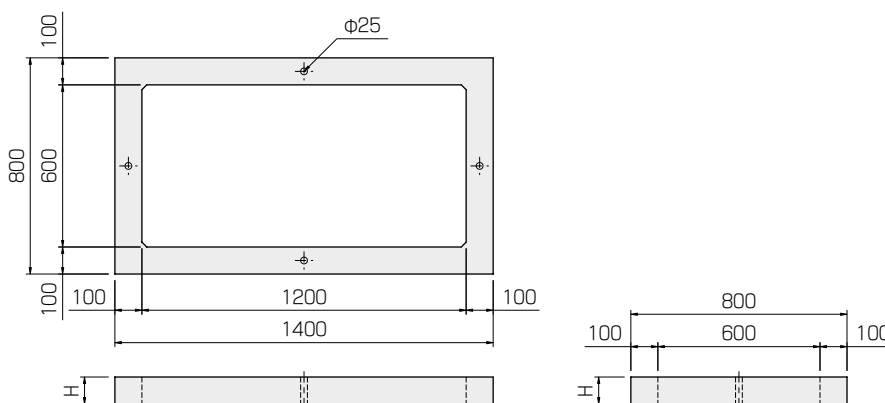
情報ボックスハンドホール



呼び	寸法(mm)									参考重量 (kg)
	B	B'	L	L'	H	H'	t1	t2	t3	
HH-600×1200× 900h	600	800	1200	1400	900	1000	100	100	100	1336
HH-750×1600×1100h	750	930	1600	1780	1100	1190	90	90	90	1550
河川用-600×1200×350h	600	800	1200	1400	350	450	100	100	100	556
河川用-600×1200×650h	600	800	1200	1400	650	750	100	100	100	871



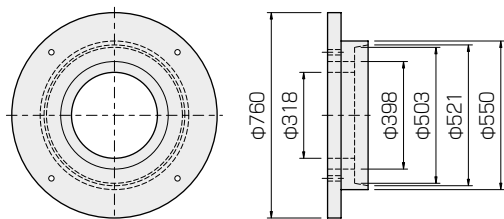
呼び	寸法(mm)			参考重量 (kg)
	a	h	t1	
MH用調整リング	600	150	150	128



呼び	寸法(mm)	参考重量 (kg)
	H	
HH-600×1200×100h側塊	100	105
HH-600×1200×200h側塊	200	210
HH-600×1200×300h側塊	300	315

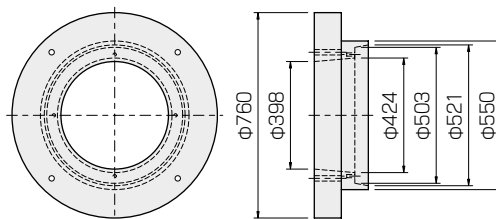
ダクトスリーブアダプタ

参考重量 63kg



ダクトスリーブアダプタPC巻き立て用

参考重量 108kg



PC巻き立て

参考重量 24kg

